

こんな議員
めったに
いません

32年間の府職員の経験、 3期12年の舞鶴市議の豊かな実績

和田ふ頭 21億円の市負担解消

和田ふ頭建設に毎年、府が市に負担金を取っていました。当時、ごの市議は法・条例を調べ上げ「法違反では」と追及。21億円の負担金を解消し市民の財源を確保。試されずみの人です。

小中学校全教室にクーラー設置

「クーラーを設置し子どもたちに快適な教育環境」を求め、「それほど室温は高くない」と渋る教育委員会に「3階、4階の室温は高い」ことを認めさせ、すべての小中学校の普通教室にエアコンを設置させました。

豪雨災害での高速道路無料開放

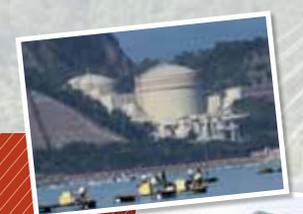
昨年の豪雨災害時、国道27号線が山崩れで不通に。その朝、高速道路の無料開放をもとめ交渉、夕方には実現。真倉自治会の有線放送で「後野市議の奮闘で無料開放」と感謝されました。

志高に排水ポンプ車を配車

連続する災害で床上浸水が相次ぐなか、志高への排水ポンプ車を配備させるとともに、自然災害による屋根補修費の助成を実現。

定置網に補助金を実現

長年、定置網漁業者から要望のあった数億円もする定置網への補助金について、国・府・市会議員が連携し、ついに実現。



今度は府政に生かして 頑張ります

原発ゼロ・再生可能エネルギーへの転換を

医療崩壊に京都府は医師配置のイニシアチブの発揮を

自衛隊員の命全力で守ります。平和発信の港・舞鶴へ

知事に何でも賛成・
舞鶴市長いいなり府議か、

住民と力をあわせ
府政をただす共産党の**ごの**か

舞鶴の対決

舞鶴の代表2人 1人は日本共産党を

ハッキリものをいっしかり働く

国会では野党共闘が進み、共同して安倍政権を倒そうという時に、京都では「オール与党」のまま。12月府会では、「子どもの医療費助成拡充、中学校卒業までの窓口無料化」「全員制の温かい中学校給食の実施」意見書や決議に共産党以外の議員はことごとく反対しました。

「まともな避難計画すらないのに、
原発再稼働はやめてほしい」
「オール京都・オール舞鶴で医師確保、
医療体制の確立を」
「府の管理河川の改修を前倒しでやってほしい」
舞鶴市民の願いを実現するには、
国・府に堂々ともを言い、汗を流す議員が必要です。
32年間の府職員の経験、3期12年の舞鶴市議の経験を、
今度は府政で生かして頑張ります。



日本共産党

ごの 和史

医療で困っているあなたの声

繰り返す災害に苦しむあなたの声

府政に届いていますか

後野かずし

1951年生まれ。67歳。立命館大学2部経済学部卒業。
京都府職員32年、府職労書記長を経て、
市会議員3期12年。現在、党地区副委員長。

府会

舞鶴民報 日本共産党舞鶴地区委員会は、次の見解を発表しました。
2019年2月発行 / 日本共産党舞鶴地区委員会 〒625-0036 京都府舞鶴市浜756-2 電話：0773-65-4050

9条改憲・消費税10%・“サヨナラ安倍政治” 原発再稼働NO!